

ミュージアム & シアターの最新情報 [アート・ニュース・トーキョー]

ART NEWS TOKYO

JP/EN
BILINGUAL

Museum and Theatre Information



featuring: Takahiko Kozuka

2018 08-11



公益財団法人 東京都歴史文化財団
Tokyo Foundation for History and Culture

Takahiko Kozuka

Figure skater

小塚崇彦 フィギュアスケーター



大ホール ホワイエ

たくさんの人の感性があるからこそ、いろいろな芸術が生まれる。

Variety in taste leads to variety in art

フィギュアスケート一家に生まれ育ち、オリンピックや世界選手権など、ジュニア時代から世界と戦ってきた小塚崇彦さん。2016年に現役を引退後は、モータースポーツに参戦するなど新たな挑戦を続けています。そんな小塚さんが、半世紀以上にわたってクラシック音楽やオペラ、バレエなどの世界的な公演を上演している「東京文化会館」を訪問。華麗なスケート技術で世界を魅了してきた小塚さんが、この場所で感じ、語ったことは？

Born into a figure skating family, Takahiko Kozuka has competed on the world stage since his junior division years. His first visit to the Tokyo Bunka Kaikan, which has been a venue for world-class opera and classical musical performances for over fifty years. How did he feel being in this place?

Interview: Hitomi Hasegawa, Photos: Tatsuro Kakishima (Pointer), Stylist: ROOMS Co.,Ltd., Hair & Make: takane (allure)
撮影協力: 東京文化会館

スポーツと芸術の間で

フィギュアスケートって、スポーツと芸術の融合そのものなんです。その芸術の部分って、人それぞれ感じるものが違うので点数化するのは難しいことなんですけど、自分の好きなものや嫌いなものを見つけるのはとてもいいことだと思います。感性が磨かれますから。モダンバレエを習っていたこともあって、バレエ公演も見に行っていました。頭では理想のポジションをとっているつもりでも、鏡で見ると実際には出来ていないことが多いんです。客観的に自分の体を知り、ひたすら反復練習をす

ることですか、習得できないことがある。フィギュアスケートに限らず、一流の選手って美しいと感じます。スポーツする姿を美しいと思ったり、心地いい動きだなと感じたりすることも、感性を磨いてくれるんじゃないでしょうか。たくさんの感性があるからこそ、いろいろな芸術が生まれるんですね。

現役時代はスケートの幅を広げていくため、プログラムの楽曲を選ぶ時には振付師の先生に「今の自分に必要なものって何ですか？」と聞いて、出していただいた3曲くらいから選ぶことが多かったです。クラシックからミュージカル、ジャズ、ビートルズま

で、いろいろな曲を滑ってきましたけど、思い出に残っている1曲を選ぶとしたら、2010年のバンクーバーオリンピックのフリーで滑った『GUITAR CONCERTO』です。マイケル・ケイメン作曲で布袋寅泰さんのエレキギターがオーケストラとコラボレーションしているもの。オリンピックという特別な舞台で滑ったということもあり、一番大切にしている曲です。

アーティストたちが“目指す場所”

大ホールの舞台裏や楽屋の廊下の柱に、出演者たちがびっしりとサイン

Between sport and art

Figure skating is a fusion of sport and art. Judging the artistic aspect can be difficult because our feelings differ from one another, but it helps refine your taste. When I was studying modern ballet, there were many times where, in my posture was perfect – but it wasn't. Some things you can only master through single-minded repetition. When you can find the beauty in the skill of an athlete's movements, it develops your artistic sense. The great variety that exists in art is only possible because of the variety in people's tastes.

During my active career, I've skated to a lot of different tracks, from classical pieces to songs from musicals, jazz music and even The Beatles. If I had to pick one memorable track, it would be the one I used for my free skate at the 2010 Vancouver Olympics – "Guitar Concerto". Because I was skating on the Olympic stage it remains the most important piece of music to me.

A place for artists to aspire towards

Seeing the backstage area of the main hall, where so many performers have left their signature, it made me realise how the Tokyo Bunka Kaikan is a place to aspire

to for performers. I was trying to think if there was an equivalent for figure skaters, I think it would be an event – like the Japanese Championships or the World Championships, or the Olympics.



音楽資料室



大ホール 客席

を残しているのを見て、クラシックやバレエ、オペラの人たちにとって東京文化会館は“目指す場所”なんだな、と感じました。ラグビーだったら秩父宮ラグビー場、アーティストだったら日本武道館みたいな所。だからこそ、皆さん、サインを残しているのですよね。フィギュアスケートにはそういう場所があるかなと考えたのですが、ここという場所はなくて、全日本選手権や

世界選手権、オリンピックなどの大会が、東京文化会館のような存在になるのかなと思います。

建物も前川國男の代表作かどうかはいましたが、この空間にいただけでここは“特別な場所”なんだということを感じますね。大ホールは音がすばらしく響くので、ステージ上で思わず大声で歌いたくなりました(笑)。客席に囲まれる感じも、さいたまスーパーアリー

Even before I heard that this building was a signature work by the great architect Kunio Mayekawa, I could sense just by standing here that I was in a special place. The acoustics are so spectacular in the main hall that when I was on stage, I suddenly felt like bursting into song (laughs)! It must feel really good to perform here.

The music library on the 4th floor (holding 133,000 pieces of audio) was also really

interesting. The collection is so huge that you can choose from versions of the same piece with different performers and conductors. It's great that you can study the artistry of all this music for free.

Promotional work through motor sports

Since retiring from competition two years ago, I've wanted to encourage more people to get interested in and try

ナを思い出します。ここで演奏する人は気持ちいいでしょうね。

4階の音楽資料室(133,000点もの音楽関係資料を所蔵)も興味深かったです。2011年の世界選手権で銀メダルをとった時のフランチ・リストの「ピアノ協奏曲第1番変ホ長調」のレコードを聞きながら、ジャケットの解説をじっくりと読んでしまいました。これだけ音源の数が多いと、同じ曲でも

sports for themselves. I feel that if I don't understand something about the sport myself I won't be able to get the message across, so I've decided to give various different sports a try.

I started motor sports back in February, deciding to compete in the 86/BRZ Race. A while back, Akio Toyoda, the president of Toyota, told me he was competing in rally driving, and that it was a lot of fun. When the opportunity came up, I

演奏者や指揮者でいろいろなチョイスができますよね。無料ですし、いろんな芸術性が勉強できていいですね。

スポーツの普及のために、モータースポーツにもトライ!

競技から引退して2年半ほど経った現在は、フィギュアスケートに限らず、スポーツをより多くの人に知ってもらいたい、実際に体験してもらいたいと思っていますので、普及活動をベースにしています。まず自分が知らないと伝えられませんか、さまざまなスポーツにトライしているんですよ。

たとえば今年の2月からはモータースポーツを始めています。「86/BRZレース」のために国内A級ライセンスを取り、

remembered what he'd said and decided to something better than existing models. for myself.

When it comes to figure skating, I'm working on development of skate blades. I wondered if Japanese craftsmanship would come up with something better. Now after six years of work, we finally produced a line I feel is worth releasing. It would be great if top skaters and young hopefuls chose to use our blades in future.



Café HIBIKI

7月には初レースに参戦します。以前、トヨタ自動車の豊田章男社長から「ラリー(一般道を走る自動車競技)に出ているけど、面白いよ」とうかがったことがあったのですが、レースの話をしていただいた時、それを思い出して「やってみよう!」と挑戦することにしました。あの言葉がなかったら、やっていなかったかもしれないです。

フィギュアスケート関連ですと、ブレード(スケート靴の刃の部分)の開発もしています。選手用のブレードはほとんどが欧米製で、日本の技術力を集約したらもっといいものができるのではないかと名古屋の金属加工メーカーの山一ハガネさんと始めましたが、技術を埋め込むことや、選手たちの微妙な感覚を実際の形にしていくことの難

When you watch figure skating, or any sport, and it leaves an impression on you – whether it be an aspect you found interesting, or a way of looking at things – you'll find it easier to try the sport for yourself when you get the chance. I feel it's my role to pass that idea on to as many people as I can, and work to spread the appeal of sports.

しさを痛感しましたね。選手時代から約6年かけて、これだったら世に出しても大丈夫という一定ラインまで来たので、4月に販売を始めることができました。これからたくさんの方に実際に滑ってもらいながら改良を加えていきます。現役のトップスケーターやこれから世界を狙っていく選手たちに使ってもらいたいですね。

フィギュアスケートでもほかのスポーツでも、頭の片隅に「こういうところが面白いよ」とか「こういう見方をするといいよ」というものが残っていると、何かきっかけがあった時にポンッと入ってきやすい。それを多くの人に伝えていくのが自分の役目だと思って、今後スポーツの普及に努めていきたいと考えています。

小塚 崇彦(こづか たかひこ)

1989年名古屋市生まれ。5歳の頃より本格的にフィギュアスケートを始め、2005-2006シーズンにジュニアグランプリファイナルで日本人初優勝、2010年にはバンクーバーオリンピックにて8位入賞、2010-2011シーズンの世界選手権で2位などと輝かしい成績を収める。2016年の現役引退後はフィギュアスケートのみならず、スポーツの普及活動に力を入れている。8月18日(土)・19日(日)には、広島サンプラザホールで開催される「プリンスアイスワールド2018」に出演。
<https://www.princehotels.co.jp/iceshow/>



パンダパンケーキ

カフェ「Café HIBIKI」では、可愛いパンダメニューも! 上野公園散策の合間に、ぜひお立ち寄りください。

教えて！ミュージアム＆シアターの“中の人”

小塚崇彦 × 木村あや(東京文化会館 事業企画課)



第14回東京音楽コンクール 声楽部門第1位及び聴衆賞 アン・ジョンミン ©堀田力丸



「東京音楽コンクール」とフィギュアスケートの意外な共通点を発見！

木村 東京文化会館の木村です。当館が新人音楽家の発掘と育成・支援を目的に開催している「東京音楽コンクール」をご紹介します。第16回の今年は3部門があり、弦楽部門は15歳～30歳、金管部門は16歳～30歳、声楽部門は20～35歳の方が応募できます。予選を勝ち抜くと本選でオーケストラと共演できるんですよ。

小塚 オーケストラとの共演は緊張しそうですね。

木村 リハーサルで初めてオーケストラと一緒に演奏するという方が半数以上なので、緊張される方も多いですね。あと、審査員とは別にお客様の投票で選ばれる「聴衆賞」もあるんですよ。

小塚 芸術に点数をつけるのはフィギュアスケートと似ていますね。試合とアイスショーを一緒にやっている感じがな。

木村 以前は音源審査から始めていましたが、第13回からは第1次予選からすべて生演奏で審査しています。それぞれの部門に定員を設けていて、金

管部門は180人なんです。

小塚 え、180人もの演奏を聞くんですか？

木村 聞きます、3日間かけて。1次は非公開ですが第2次予選からはお客様にも公開しています。弦楽や金管は課題曲がありますが、声楽部門は自分でプログラムを構成する必要があります。どういうプログラムを組んでお客様を魅了したかということも審査に含まれるんです。

小塚 それもフィギュアスケートと一緒にですね。プログラムの中でどこにジャンプを入れるかやどう盛り上げるか、音楽との調和や技と技とのつなぎ方も「演技構成点」として審査されますから。

木村 本当に似てますね！第2次予選の一週間後には本選があるので、どちらも準備しておかないといけません。本選はコンチェルトなので、長いものは40分くらいの大曲もあるんですよ。

小塚 力の入れ具合が難しいですね。1次から本選まで。

は…という方もいますし、どこに自分のピークを持っていか、コントロールが難しいようです。

小塚 試合でもピーキングは大事ですね。ここで入賞すると、その先はどうなっていくんですか？

木村 まずは、一人でプログラムも決めてお話ししてもらおう「上野 de クラシック」に出演していただきます。本人は演奏とおしゃべりで大変ですが、将来活躍するには場数が必要なので。

小塚 見てくれる人がいて成り立つ世界では、コミュニケーション力が大切でもんね。このコンクールで今後が変わってくると思うので、出場者はここにしっかりと焦点を合わせて、それぞれの人生をかけて頑張ってください。

第16回東京音楽コンクール
第2次予選: 8月20日(月)・22日(水)・
24日(金) / 料金: 500円
本選: 8月27日(月)・29日(水)・31日(金)
/ 料金: 2,000円ほか
▶詳細はP.08

小塚さん、こんな Art & Culture はどうでしょう？

Tokyo's upcoming art and culture program curators recommend.

●日本独自の食文化である「お弁当」について、見る・聞く・触れる、参加型の展覧会。【東京都美術館】

BENTO おべんとう展—食べる・集う・つながるデザイン

BENTO—Design for Eating, Gathering and Communicating [Tokyo Metropolitan Art Museum]

詳細はP.15



東京都美術館
学芸員: 熊谷香寿美

おべんとう展は、「お弁当」を軸に、「食」のコミュニケーション・デザインを考える展覧会です。遊び心のあるユニークなお弁当箱や、現代のアーティストたちの作品などを展示します。大人も子どもファミリーも楽しめる、参加体験型の展覧会です。
The exhibition considers food communication and design through the lens of the bento box, and will feature playful lunchbox designs as well as works by contemporary artists. It is an experience-based exhibition that adults, children, and families can have fun.



僕は両親がフィギュアスケートの先生だったので、小さい頃は練習の合間に家族揃ってリンクサイドでお弁当を食べることが多かったですね。大きなボックスにおかずを、ごはんはそれぞれに詰めて、食べながら家族会議みたいなこともやっていましたよ(笑)。
When I was young, my family would often eat lunch together at rinkside during breaks in practice. We sometimes had family meetings while we ate (laughs).



●赤ちゃんからシニアまで、誰もが楽しめる音楽祭。【東京芸術劇場】

ボンクリ・フェス2018

"Born Creative" Festival 2018 [Tokyo Metropolitan Theatre]

詳細はP.11



ボンクリ・フェス
アーティスティック・ディレクター
作曲家: 藤倉大

「ボンクリ・フェス」は、大人になっても5歳の子供のまじりクリエイティヴでいる人達の作品を、赤ちゃんからシニアまで楽しめる1日音楽祭。世界中から「ボンクリに関わりたい!」という音楽家が集まります。初開催の去年は企画した僕たちもびっくりするくらいの大反響で、2回目もやるしかないでしょう!ということで、今年もまたやります!
The "Born Creative" Festival is a one-day music festival featuring the work of people who never lost their childlike creativity. We had an overwhelming response last year that surprised even us, so we had no choice but to do it again this year!

自分の好きな音を見つけることは、自分を新しく表現したり、自分らしさを見つけたりするきっかけになるのかなと思います。僕の転機となった曲は「Save the Last Dance for Me」。音ひとつひとつを表現する振付で、音楽に対する考え方が変わりましたよ。
Discovering a sound you like can become an opportunity to express yourself in a new way or find your individuality. A song that became a turning point for me was "Save the Last Dance for Me". Expressing the sounds one by one through the choreography completely changed the way I thought about music.



●東京が150年の間にいかに変化したのか、展覧します。【東京都江戸東京博物館】

企画展「東京150年」

Tokyo 150 Years [Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum]

詳細はP.12



東京都江戸東京博物館
学芸員: 香沢博行

今年は「東京」が生まれて150年目に当たる記念の年です。この150年の間に「江戸」であった街は、関東大震災や戦争などの影響で幾度も破壊されながらも復興し、現在のような首都の姿へと変わっていきました。展示ではそんな東京の移り変わりをそれぞれの時代の写真や映像、地図などから分かりやすく追っていきます。東京のはじまりから現在までの歴史が体感できますよ。This year is the 150th anniversary of the founding of the city of Tokyo. Over those 150 years, the town that was known as Edo faced destruction several times, rebuilding time and again to eventually become the capital city we know today. We will show the city's transformation in an easy to understand way through photographs, film and maps from various periods.

2年後の東京オリンピックには、海外からたくさんの人たちが日本に来てくれますよね。その時に、自分たちが東京を知っていることが大切だと思っています。僕は東京ってなかなかガイドブックで調べたりしないので、東京を再認識するいい機会になりますね。
We'll see a lot of visitors from overseas coming to Japan for the Olympics. I think it's important for me to have a good knowledge of Tokyo in anticipation of that. This looks to be a great opportunity to renew your understanding of the city.





Music Program TOKYO 小曽根真&エリック・ミヤシロ

“Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

9月29日(土)17:00 開演 / 大ホール、9月30日(日)15:00 開演 / オリンパスホール八王子

Music Program TOKYO Makoto Ozone & Eric Miyashiro

“Jazz meets Classic” with Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Sep. 29 Sat. 17:00 / Main Hall, Sep. 30 Sun. 15:00 / Olympus Hall Hachioji



小曽根真
Makoto Ozone (Piano)



エリック・ミヤシロ
Eric Miyashiro (Trumpet)



エドウィン・アウトウォーター
Edwin Outwater (Conductor)

ピアノ:小曽根真
トランペット:エリック・ミヤシロ
指揮:エドウィン・アウトウォーター(第1部のみ)
管弦楽:東京都交響楽団(第1部のみ)
曲目:【第1部】タルティーニ／トランペット協奏曲 二長調より 第1楽章、第3楽章
ガーシュウィン／ピアノ協奏曲 ヘ調
【第2部】ジャズ・セッション
料金:S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円、25歳以下1,000円(要証明書)

Admission: S seats: ¥5,000 / A seats: ¥4,000 / B seats: ¥3,000 / 25 and younger: ¥1,000

Check! 非常に高い音域を正確に演奏するエリック・ミヤシロのテクニックにご注目ください!

タルティーニとガーシュウィン、バロックと近代が交差する“Jazz meets Classic”! スーパー・ジャズピアニスト小曽根真と、ミラクル・トランペッター、エリック・ミヤシロが、ジャンルと時空を越えた華麗なるステージを繰り広げる!

Tartini and Gershwin – baroque and modern – intersect at “Jazz meets Classic”! Celebrated jazz pianist Makoto Ozone and trumpeter Eric Miyashiro present a stunning show that transcends both genre and era.

第16回東京音楽コンクール

第2次予選 / 小ホール

8月20日(月)11:00開演 声楽部門
8月22日(水)11:00開演 弦楽部門
8月24日(金)11:00開演 金管部門

本選 / 大ホール

8月27日(月)18:00開演 声楽部門
8月29日(水)18:00開演 弦楽部門
8月31日(金)18:00開演 金管部門

The 16th Tokyo Music Competition 2018

Second Round / Recital Hall

Aug. 20 Mon. 11:00 Vocal Section
Aug. 22 Wed. 11:00 String Section
Aug. 24 Fri. 11:00 Brass Section

Final Round / Main Hall

Aug. 27 Mon. 18:00 Vocal Section
Aug. 29 Wed. 18:00 String Section
Aug. 31 Fri. 18:00 Brass Section



木村皓一(テューバ) ©堀田丸
第14回東京音楽コンクール
金管部門第2位(最高位)及び聴衆賞

料金:第2次予選:500円
本選:一般2,000円、65歳以上・ハンディキャップ1,500円、25歳以下1,000円(要証明書)

**Admission: Second Round: ¥500
Final Round: Adults: ¥2,000**

▶特集はP.06をご覧ください。

音楽 Music

上野deクラシック / 小ホール

8月1日(水) 19:00開演 与儀巧(テノール)、上江隼人(バリトン)
9月21日(金) 11:00開演 柿沼麻美(ファゴット)
10月17日(水) 11:00開演 原田莉奈(ピアノ)
11月23日(金・祝) 14:00開演 鈴木大樹(ヴァイオラ)、梶川真歩(フルート)ほか

Ueno de Classic / Recital Hall

Aug. 1 Wed. 19:00 Takumi Yogi (Tenor), Hayato Kamie (Baritone)
Sep. 21 Fri. 11:00 Asami Kakinuma (Bassoon)
Oct. 17 Wed. 11:00 Rina Harada (Piano)
Nov. 23 Fri. 14:00 Taiki Suzumura (Viola), Maho Kajikawa (Flute) and more

創遊・楽落“夜”らいぶ Vol.44—音楽家と落語家のコラボレーション—

10月9日(火)19:00開演 / 小ホール
桂歌春(落語)、溝口肇(チェロ)、栗林すみれ(ピアノ)

SOYU RAKU RAKU NIGHT LIVE Vol.44

— Collaboration of Music and Rakugo —

Oct. 9 Tue. 19:00 / Recital Hall
Utaharu Katsura (Rakugo), Hajime Mizoguchi (Cello), Sumire Kuribayashi (Piano)

Music Program TOKYO 3歳からの楽しいクラシック

11月10日(土)14:00 開演 / 小ホール
白石光隆(ピアノ)、上野由恵(フルート)

Music Program TOKYO Classical Music for Young Children

Nov. 10 Sat. 14:00 / Recital Hall
Mitsutaka Shiraishi (Piano), Yoshie Ueno (Flute)

Music Program TOKYO プラチナ・シリーズ 第3回

吉野直子&徳永二男 〜ハープとヴァイオリン、華麗なるデュオ〜

11月16日(金)19:00開演 / 小ホール

Music Program TOKYO Platinum Series Vol.3: Naoko Yoshino & Tsugio Tokunaga – Elegant duo with Harp and Violin

Nov. 16 Fri. 19:00 / Recital Hall



吉野直子
Naoko Yoshino (Harp)



徳永二男
Tsugio Tokunaga (Violin)

「奇跡の音響」と称される小ホールで贅沢なひと時を。一流アーティストによる珠玉のコンサートをお楽しみください。

Have a gorgeous time in the Recital Hall, known for its “miraculous acoustics”, as first-class musicians perform a concert of musical gems.

ハープ:吉野直子 **ヴァイオリン:**徳永二男

曲目:J.S. バッハ＝グノー／アヴェ・マリア、シューベルト／ソナチネ第1番 二長調 D384、クライスラー／愛の喜び、マスネ／タイスの瞑想曲 ほか
料金:S席5,000円、A席4,000円、B席2,500円(売切)、25歳以下1,000円(要証明書)

Admission: S seats: ¥5,000 / A seats: ¥4,000 / B seats: ¥2,500 (sold out) / 25 and younger: ¥1,000

Music Program TOKYO シャイニング・シリーズ Vol.3

ジョアキーノ・ロッシーニ没後150年記念

レクチャーコンサート「ロッシーニの魅力再発見！」

11月17日(土)15:00開演 / 小ホール

Music Program TOKYO Shining Series Vol.3: Lecture Concert—The 150th anniversary of Gioachino

Rossini’s death “Refinding the fascination of Rossini!”

Nov. 17 Sat. 15:00 / Recital Hall



天羽明恵
Akie Amou (Soprano)



小堀勇介
Yusuke Kobori (Tenor)

「ウィリアム・テル序曲」などで知られるイタリアの作曲家、ジョアキーノ・ロッシーニの没後150年を記念したレクチャーコンサート。オペラのほか、宗教曲や室内楽曲なども手がけていた彼の足跡を辿ります。

A lecture concert commemorating the 150th anniversary of the death of Gioachino Rossini, best known for his ‘William Tell Overture’. The concert will trace the career of a composer whose work encompasses not only opera, but also religious music and chamber music.

解説:水谷彰良 **ソプラノ:**天羽明恵 **テノール:**小堀勇介 ほか
曲目:バガニーニへの一言、弦楽のための6つの四重奏ソナタより 第1番 ト長調、オペラ『湖の女』より 三重唱、オペラ『チェネレントラ』より 六重唱 ほか
料金:指定3,000円、25歳以下1,000円(要証明書)

Admission: ¥3,000 / 25 and younger: ¥1,000

ワークショップ Workshop

Music Program TOKYO

東京文化会館ミュージック・ワークショップ / リハーサル室

8月11日(土・祝) 10:30 / 12:00 「スペース・トラベル」 9月22日(土) 10:30 / 12:00 / 14:30 「動物たんてい〜かくれているのは、だあれだ?〜」
14:30 「カラダ・オト・ウタウ」
10月28日(日) 10:30 / 12:00 「ムジカ・ピッコラ」 11月11日(日) 10:30 / 12:00 「あけてみよう!海のふしぎな宝箱」
14:30 「Shall we シング?」 14:30 「チーズを探せ!くいしんぼうネズミ!」

Music Program TOKYO

Tokyo Bunka Kaikan Music Workshop / Rehearsal Room

Aug. 11 Sat. 10:30 / 12:00 “Space Travel” Sep. 22 Sat. 10:30 / 12:00 / 14:30 “The animal detectives – Ready or not, here I come!”
14:30 “Body, Sound, Sing”
Oct. 28 Sun. 10:30 / 12:00 “Musica Piccola” Nov. 11 Sun. 10:30 / 12:00 “Let’s open the wonder treasure boxes under the seal!”
14:30 “Shall we sing?” 14:30 “Find the cheese with foodie mice!”



前川知大 新作公演『ゲゲゲの先生へ』

10月8日(月・祝)～21日(日) / プレイハウス

To Mr.Gegege

Oct. 8 Mon. – 21 Sun. / Playhouse



前川知大 Tomohiro Maekawa 佐々木蔵之介 Kuranosuke Sasaki 松雪泰子 Yasuko Matsuyuki 白石加代子 Kayoko Shiraishi

現代日本演劇を牽引するイクウメの前川知大が、「水木しげるの世界」をモチーフに書き下ろす新作で東京芸術劇場プレイハウスに初お目見え。膨大な作品群からエッセイやインタビュー、登場人物や言葉まで、水木しげるが生前に残したエピソードの数々を一つの舞台として編み上げ、個性豊かな実力派キャストたちがその世界観を体現します。

原案:水木しげる
脚本・演出:前川知大
出演:佐々木蔵之介、松雪泰子、水田航生、水上京香、手塚とおる、池谷のぶえ、浜田信也、盛隆二、森下創、大窪人衛、白石加代子
料金:S席8,000円、A席6,500円、25歳以下(A席)5,000円、65歳以上(S席)7,000円、高校生以下1,000円 ※未就学児入場不可。65歳以上、25歳以下、高校生以下チケットは劇場ボックスオフィスのみ取扱い(枚数限定・要証明書)。

Admission: S seats: ¥8,000 / A seats: ¥6,500 / 25 and younger(A seats): ¥5,000 / 65 and over (S seats): ¥7,000 / High school students and younger: ¥1,000

A new play by Tomohiro Maekawa of theatre Company Ikiume, inspired by the works of manga author Shigeru Mizuki, makes its debut at Tokyo Metropolitan Theatre, Playhouse. From Mizuki's extensive creative output, this new work brings together material from his essays and interviews as well as his characters and language, and is performed by a uniquely talented cast, who bring Mizuki's world to life.

音楽 Music

東京芸術劇場 バイプオルガン講座
第73回 夏休み特別編 一親子で楽しめる講座―
8月10日(金)コンサート13:00開演、こうさく14:00開講 / コンサートホール
Tokyo Metropolitan Theatre Organ Lecture
Vol.73 Aug. 10 Fri. 13:00 [Concert], 14:00 [Craft work] / Concert Hall

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.23 8月23日(木)19:30開演 / コンサートホール
Vol.24 10月25日(木)19:30開演 / コンサートホール
Tokyo Metropolitan Theatre Nighttime Organ Concert
Vol.23 Aug. 23 Thu. 19:30 / Concert Hall
Vol.24 Oct. 25 Thu. 19:30 / Concert Hall

N響 JAZZ at 芸劇
8月31日(金)19:00開演 / コンサートホール
NHK Symphony Orchestra, Tokyo –
JAZZ at Tokyo Metropolitan Theatre
Aug. 31 Fri. 19:00 / Concert Hall

東京芸術劇場 Presents ブラスウィーク2018
東京吹奏楽団 9月30日(日)14:00開演 / コンサートホール
東京佼成ウインドオーケストラ 10月6日(土)14:00開演 / コンサートホール
広島ウインドオーケストラ 11月29日(木)19:00開演 / コンサートホール
Tokyo Metropolitan Theatre Presents Brass Week 2018
Tokyo Wind Symphony Orchestra Sep. 30 Sun. 14:00 / Concert Hall
Tokyo Kosei Wind Orchestra Oct. 6 Sat. 14:00 / Concert Hall
Hiroshima Wind Orchestra Nov. 29 Thu. 19:00 / Concert Hall

東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.128 9月27日(木)12:15開演 / コンサートホール
Vol.129 11月15日(木)12:15開演 / コンサートホール
Tokyo Metropolitan Theatre Lunchtime Organ Concert
Vol.128 Sep. 27 Thu. 12:15 / Concert Hall
Vol.129 Nov. 15 Thu. 12:15 / Concert Hall

井上道義&読売日本交響楽団
マーラー / 交響曲第8番『千人の交響曲』
10月3日(水)19:00開演 / コンサートホール
Michiyoshi Inoue & Yomiuri Nippon Symphony Orchestra
Mahler: Symphonie Nr.8 Es–Dur
Oct. 3 Wed. 19:00 / Concert Hall

第9回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2018
上野学園大学&桐朋学園大学 11月25日(日)15:00開演 / コンサートホール
東京音楽大学&東邦音楽大学 12月8日(土)15:00開演 / コンサートホール
College of Music Orchestra Festival 2018
Ueno Gakuen University & Toho Gakuen College Music Department
Nov. 25 Sun. 15:00 / Concert Hall
Tokyo College of Music & Toho College of Music
Dec. 8. Sat. 15:00 / Concert Hall

エル・システマ・フェスティバル2018
11月30日(金)、12月1日(土) / コンサートホール ほか
El Sistema Festival 2018
Nov. 30 Fri., Dec. 1 Sat. / Concert Hall, etc.

ボンクリ・フェス2018 “Born Creative” Festival 2018

9月24日(月・振休) デイタイム・プログラム 11:00～17:00 / 館内各所、スペシャル・コンサート 17:30開演 / コンサートホール

“Born Creative” Festival 2018

Sep. 24 Mon. Daytime Program: 11:00 – 17:00, Special Concert: 17:30 / Concert Hall, Symphony Space, Atrium, etc.



藤倉大 ©Seiji Okumiya
Dai Fujikura
(Artistic Director)

世界的作曲家の藤倉大が「ボン・クリエイティヴ」な感性でさまざまな音楽をシャッフル! 朝から晩まで多彩なジャンル音楽家によるイベントを東京芸術劇場中に散りばめた、「新しい音」の祭典です。

World-famous composer Dai Fujikura mixes a range of music under the theme “Born Creative”. This festival of new sounds will feature performances by musicians of various genres all day long.

アーティスティック・ディレクター:藤倉大 **出演:**アンサンブル・ノマド(指揮:佐藤紀雄)、東京混声合唱団、カティンカ・クライン(チェロ)、ヤン・バング(エレクトロニクス)、エリック・オノレ(エレクトロニクス)、アイヴィン・オールセット(ギター)、ニルス・ベッター・モルヴェル(トランペット)、イサオ・ナカムラ(パーカッション)、大友良英、藤倉大(エレクトロニクス)、黒田鈴尊(尺八) **サウンドデザイン:**永見竜生[Nagie] **デイタイム・プログラム料金:**無料(一部プログラムにはスペシャル・コンサートのチケットが必要です) **スペシャル・コンサート料金:**S席3,000円、A席2,000円、高校生以下1,000円 ※未就学児入場不可。高校生以下チケットは劇場ボックスオフィスのみ取扱い(枚数限定・要証明書)。

Admission: Daytime Program: Free (Some program will require a ticket of Special Concert)
Special Concert: S seats: ¥3,000 / A seats: ¥2,000 / High school students and younger: ¥1,000

東京芸術劇場 コンサートオペラ vol.6 藤倉大 / 歌劇『ソラリス』全幕

※日本初演、演奏会形式
【日本語字幕付原語(英語)上演】

10月31日(水) 19:00開演 / コンサートホール

Dai Fujikura: Opera in 4 Acts “SOLARIS” *Japan Premiere, Concert Style

Oct. 31 Wed. 19:00 / Concert Hall

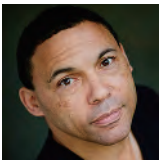
作曲家、藤倉大がレムの名作SF小説を題材に作曲した歌劇『ソラリス』。待望の日本初演です。



三宅理恵
Rie Miyake



サイモン・ベイリー
Simon Bailey



トム・ランドル
Tom Randle

出演:三宅理恵(ハリー / ソプラノ)、サイモン・ベイリー(クリス・ケルヴィン / バリトン)、トム・ランドル(スナウト / テノール)、森雅史(ギバリアン / バス)、ロリー・マズグレイヴ(ケルヴィン<オブステージ> / バリトン) **指揮:**佐藤紀雄 **管弦楽:**アンサンブル・ノマド **エレクトロニクス:**永見竜生[Nagie]

料金:S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円、C席3,000円、D席1,500円、高校生以下1,000円 ※未就学児入場不可。高校生以下チケットは劇場ボックスオフィスのみ取扱い(枚数限定・要証明書)。

Admission: S seats: ¥6,000 / A seats: ¥5,000 / B seats: ¥4,000 / C seats: ¥3,000 / D seats: ¥1,500 / High school students and younger: ¥1,000

演劇・舞踊 Stage

『自作自演』<第16回>芸劇+トーク 異世代作家リーディング
8月2日(木)16:00開演 / シアターイースト
Geigeki + Talk 16th. Two Writers of different generations give readings of two works
Aug. 2 Thu. 16:00 / Theatre East

オックスフォード大学演劇協会来日公演『十二夜』
8月7日(火)・8日(水) / シアターウエスト
Oxford Shakespeare Players Japan Tour 2018 “Twelfth Night”
Aug. 7 Tue., 8 Wed. / Theatre West

NODA・MAP 第22回公演『眞作 桜の森の満開の下』
9月1日(土)～12日(水)、11月3日(土・祝)～25日(日) / プレイハウス
NODA・MAP In the forest, under cherries in full bloom
Sep. 1 Sat. – 12 Wed., Nov. 3 Sat. – 25 Sun. / Playhouse

カミュー・ボワテル『MA—間』
9月27日(木)～30日(日)予定 / シアターイースト
Camille Boitel “MA”
Sep. 27 Thu. – 30 Sun. (T.B.A.) / Theatre East

ワークショップ・イベント Workshop / Event

リロ・パウアーによる演劇ワークショップ
/ リハーサルルーム L ほか
A:10月21日(日)～25日(木) B:10月29日(月)～11月16日(金)
Theatre Workshop by Lilo Baur / Rehearsal Room L, etc.
A: Oct. 21 Sun. – 25 Thu. B: Oct. 29 Mon. – Nov. 16 Fri.

ストリートアーティスト・アカデミー
特別ワークショップ
11月21日(水)～24日(土) / リハーサルルームL ほか
Street Artist Academy Special Workshop
Nov. 21 Wed. – 24 Sat. / Rehearsal Room L, etc.



企画展「東京150年」

8月7日(火)～10月8日(月・祝)

Tokyo 150 Years

Aug. 7 Tue. – Oct. 8 Mon.

サマーナイトミュージアム P.24へ



銀座中央新聞社号外張出 徳大寺公弘/撮影 1894年(明治27)頃

2018年に誕生から150年を迎える首都・東京が、どのような姿で始まり、どのように変化していったのかを写真や映像、そしてそれぞれの時代に製作された地図などから展観します。

150 years after Tokyo was established as Japan's capital, this exhibition looks at the city's beginnings and how it has changed over the years, through photographs, film and contemporary maps.

休館日: 8月20日(月)・27日(月)、9月3日(月)・25日(火)

Closed: Aug. 20 Mon., 27 Mon., Sep. 3 Mon., 25 Tue.

Check!

貴重な写真や映像、そして変わる都市の姿を記録した地図を数多く紹介し、視覚的に東京の変化を感じていただける展示です。

企画展「玉—古代を彩る至宝—」

10月23日(火)～12月9日(日)

Tama: The Treasures of Ancient Japan

Oct. 23 Tue. – Dec. 9 Sun.



ガラス製小玉と勾玉、管玉
西都原111号墳(宮崎県)
宮崎県立西都原考古博物館蔵

古来より人々は玉に対して身を飾る美しさだけでなく、魂・霊(タマ)に通じる神秘性を見だし、大切に取り扱い扱ってきました。古代歴史文化にゆかりの深い14県と連携して、国宝・重要文化財を含む選りすぐりの玉の世界を紹介します。古代の美意識の結晶ともいえる玉の魅力と歴史的役割を分かりやすく展示します。

Since ancient times, *tama* (ornamental beads) have been treasured in Japan not just as objects to decorate the body with, but as items with the power to connect people with the spiritual world. This exhibition, in cooperation with 14 prefectures with close ties to Japan's ancient cultural history, introduces the world of *tama*, and features pieces designated as National Treasures and Important Cultural Properties. *Tama* can be seen as an embodiment of ancient aesthetic taste, and this exhibition aims to explain the appeal and historical role of *tama* in an easy to understand manner.

休館日: 月曜日 Closed: Mon.

Check!

古墳時代の出土玉類を中心に全国から古代の至宝が集結します!

観覧料: ※常設展観覧料でご覧になれます。一般600(480)円、大学生・専門学校生480(380)円、中学生・高校生・65歳以上300(240)円、小学生以下、都内在住・在学の中学生無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

Admission: Adults: ¥600 / College and Vocational students: ¥480 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥300 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free



「東京150年—都市とたてもの、ひと」展

7月24日(火)～2019年1月20日(日)

Tokyo 150 Years — The City, Building and People

Jul. 24 Tue., 2018 – Jan. 20 Sun., 2019



東京海運橋第一国立銀行の全図 并近円の市中一覧の図
歌川虎重/画 永嶋辰五郎/画工 明治9年5月
東京都江戸東京博物館蔵

東京誕生150年を記念し、東京都江戸東京博物館と連動した展覧会を開催します。東京に建てられた様々な建造物とおして東京の変遷を紹介し、都市景観や暮らしの変化を概観します。あわせて、失われた建造物の特徴や魅力、歴史的建造物の活用についての事例も取り上げ、都市東京の150年において建築が果たした役割を明らかにします。

To mark 150 years since the founding of the city of Tokyo, the museum will be presenting this exhibition in cooperation with the Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum. By looking at the kinds of buildings constructed in Tokyo, the exhibition will offer an overview of the city's development and how its landscape, and the lifestyles of its people, changed. It will also look at the characteristics and aesthetic appeal of lost buildings, offer examples of the adaptive reuse of historical buildings, and show the role that architecture played in the city over the last 150 years.

夜間特別開園 紅葉とたてもののライトアップ

11月23日(金・祝)～25日(日) 16:30～20:00(開園は9:30から、入園は19:30まで)

Illumination of fall foliage and buildings 【Special Night Opening】

Nov. 23 Fri. – 25 Sun. 16:30 – 20:00



美しく色づいた木々と、そこにたたずむ歴史的建造物を優しく柔らかな光で照らし出し、普段では味わえない夜のたてもの園を散策できる特別な3日間。建物の中から漏れ出るあかりが幻想的な世界を創り出します。

The autumn leaves and surrounding buildings will be illuminated with subtle lighting for this 3-day event where you can take an evening stroll and see a side to the museum not possible during regular hours. The light seeping out from inside the buildings will create a fairytale atmosphere.

夜間特別開園 たてもの園下町夕涼み

8月4日(土)・5日(日) 15:00～20:30(開園は9:30から、入園は20:00まで)

Downtown Summer Night Breeze: A Museum Festival 【Special Night Opening】

Aug. 4 Sat., 5 Sun. 15:00 – 20:30

体験!発見!職人さん

10月27日(土)・28日(日)

Experience and discover the craftsman's work!

Oct. 27 Sat., 28 Sun.

入園料: 一般400(320)円、大学生320(250)円、中学生(都外)・高校生・65歳以上200(160)円、小学生以下・中学生(都内)無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

休園日: 月曜日(祝休日の場合は翌平日、ただし10月1日は開園)

Admission: Adults: ¥400 / College students: ¥320 / Junior high school students living outside Tokyo, High school students and Seniors (65 and over): ¥200 / Elementary school students and younger, Junior high school students living in Tokyo: Free

Closed: Mon. (When Mon. is a national holiday, closed on the following weekday except Oct. 1.)



ブラジル先住民の椅子 野生動物と想像力

6月30日(土)～9月17日(月・祝)

**Benches of the Brazilian Indigenous Peoples:
Human Imagination and Wildlife**
Jun. 30 Sat. – Sep. 17 Mon.

南米大陸、ブラジル北部のアマゾン河やシングー川流域で暮らす先住民の人びと。彼らにとっての椅子は、日常生活だけでなくシャーマンによる儀式といった特別な機会に用いるなど、生活や伝統、独自の神話と色濃く結びついており、コミュニティ内の文化的・社会的なシンボルでもありました。それが今日、用途や伝統に縛られない多様かつ自由な表現が生まれてきています。本展は、ブラジル・サンパウロの出版社であるベイ・コレクションによるブラジル先住民の椅子約90点を取り上げ、彼ら独自の感性から生まれた造形に、人間の豊かな想像力の発露を読み取ろうとするものです。

To the indigenous peoples who lived along the Amazon and Xingu river basins in northern Brazil, benches were not merely household items. Shamans used them in their rituals, and they had symbolic value both socially and culturally, binding together everyday life with tradition and myth. This exhibition will feature 90 examples of benches made by Brazil's indigenous peoples from the collection of Sao Paulo publishing company BEI, and, by looking at how those peoples' unique sensibilities informed their craft, examine human's abundant imagination.

観覧料: 一般1,200(960)円、大学生・専門学校生:960(760)円、中高生・65歳以上600(480)円、小学生以下・都内在住の中学生は無料。()内は20名以上の団体料金、障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

休館日: 第2・第4水曜日

Admission: Adults: ¥1,200 / College and Vocational students: ¥960 / High school and Junior high school students and Seniors (65 and over): ¥600 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free

Closed: 2nd and 4th Wed.



ウルフ作(メイナク)《ジャガー》
©BEI collection / by Andreas Heininger

Check! 一木造りの椅子は、動物のフォルムや機能的なフォルムに独特の幾何学模様が施されたユニークな造形作品として捉えることができます。

エキゾチック×モダン アール・デコと異境への眼差し

10月6日(土)～2019年1月14日(月・祝)

EXOTIC×MODERN: French Art Deco and inspiration from afar
Oct. 6 Sat., 2018 – Jan. 14 Mon., 2019

アール・デコは、非ヨーロッパ圏の文化・美術からその美意識と造形に大きな影響を受けました。本展では、1931年のパリ植民地博覧会など、同時代の関心を織り込みながら、モードと様々な工芸、そしてアフリカやインドシナで制作された絵画、彫刻など約85点をご紹介します。

Art Deco had been flourishing in France in the years between the two World Wars. Inclinations towards encounters with the arts and culture of regions outside of non-European regions presented a significant influence on the aesthetics and formative sensibilities of Art Deco. This exhibition seeks to capture the sensibilities of the age of the 1931 Paris Colonial Exhibition with around 85 pieces, including fashion, craftworks and paintings and sculptures that draw inspiration from Africa and Indochina.

観覧料: 一般1,200円(960)円、大学生・専門学校生960(760)円、中高生・65歳以上600(480)円、小学生以下、都内在住・在学の中学生無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

休館日: 第2・第4水曜日、年末年始(12月28日～2019年1月4日)

Admission: Adults: ¥1,200 / College and Vocational students: ¥960 / High school and Junior high school students and Seniors (65 and over): ¥600 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free

Closed: 2nd and 4th Wed., New year holidays (Dec. 28, 2018 – Jan. 4, 2019)



ルイ・ブーケ《黒いアフリカ》30年代美術館蔵
Louis Bouquet, *Black Africa*, 1931
Ville de Boulogne-Billancourt, Musée des Années 30
© Musées de la Ville de Boulogne-Billancourt – Photo : Philippe Fuzeau



BENTO おべんとう展—食べる・集う・つながるデザイン

7月21日(土)～10月8日(月・祝)

BENTO—Design for Eating, Gathering and Communicating
Jul. 21 Sat. – Oct. 8 Mon.

サマーナイトミュージアム P.24へ



日本独自の食文化である「お弁当」と食べることのコミュニケーション・デザインについて、現代作家の作品を通して見つめます。子どもも大人もファミリーも楽しい、見る・聞く・触れる、参加体験型の展覧会です。

This exhibition looks at Japan's unique culture of "bento" and "eating" from the perspective of communication design, through works by contemporary artists. A see, hear, touch, and participate exhibition, fun for families and adults too.

お問い合わせ先: TEL 03-3823-6921
URL ▶ <http://bento.tobikan.jp>

没後50年 藤田嗣治展

7月31日(火)～10月8日(月・祝)

Foujita: A Retrospective — Commemorating the 50th Anniversary of his Death
Jul. 31 Tue. – Oct. 8 Mon.

サマーナイトミュージアム P.24へ



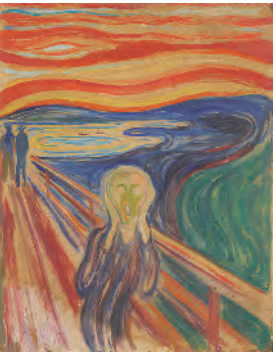
藤田嗣治《カフェ》1949年 ボンビドゥー・センター(フランス・パリ)蔵
Tsuguharu Foujita, *At the Café*, 1949,
Musée National d'Art Moderne, Centre Georges Pompidou, Paris (France)
Photo © Musée La Piscine (Roubaix), Dist. RMN-Grand Palais / Arnaud Loubry / distributed by AMF © Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017 E2833

お問い合わせ先: TEL 03-5777-8600(ハローダイヤル)
URL ▶ <http://foujita2018.jp>

ムンク展—共鳴する魂の叫び

10月27日(土)～2019年1月20日(日)

Munch: A Retrospective
Oct. 27 Sat. – Jan. 20 Sun., 2019



エドヴァルド・ムンク《叫び》1910年?
オスロ市立ムンク美術館蔵
Edvard Munch, *The Scream*, 1910?
© Munchmuseet

お問い合わせ先: TEL 03-5777-8600(ハローダイヤル)
URL ▶ <https://munch2018.jp>



杉浦邦恵

うつくしい実験

ニューヨークとの50年

7月24日(火)～9月24日(月・振休)

SUGIURA Kunié: Aspiring Experiments

New York in 50 years

Jul. 24 Tue. – Sep. 24 Mon.



杉浦邦恵《電気服にちなんで Ap2、黄色》2002年 黄色で調色されたゼラチン・シルバー・プリント
SUGIURA Kunié, After "Electric Dress Ap2, yellow" 2002, Yellow toned gelatin silver print

1963年に単身渡米し、現在もニューヨークを拠点に活動をしている杉浦邦恵。本展では、様々な素材を組み合わせる実験的な作品など、写真というメディアの多様性にいち早く注目した50年を超える杉浦の表現の変遷を紹介します。

Kunié Sugiura first traveled to America from Japan in 1963, and she is currently based in New York. This exhibition will look at how her mode of expression has changed over the course of her over 50-year career, through experimental pieces using a range of materials, which delve into the possibilities of the photographic medium.

料金: 一般900(720)円、学生800(640)円、中高生・65歳以上700(560)円。小学生以下、都内在住・在学の中学生無料。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

Admission: Adults: ¥900 / College Students: ¥800 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥700 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free

マジック・ランタン

光と影の映像史

8月14日(火)～10月14日(日)

The Magic Lantern:

A Short History of Light and Shadow

Aug. 14 Tue. – Oct. 14 Sun.



作者不詳(マジック・ランタンのトレード・カード) 19世紀 フランス リトグラフ
Artist Unknown, Magic Lantern Trade Card, 19C, France, Lithograph

映写機やプロジェクターの原型にあたる「マジック・ランタン」を通じ、映像史の新たな側面を照らし出します。

A new perspective on the history of the cinematic form through a study of the magic lantern – the "prototype" of the modern projector.

料金: 一般500円ほか。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

Admission: Adults: ¥500, and more.

愛について

アジア・コンテンポラリー

10月2日(火)～11月25日(日)

I know something about love,

asian contemporary photography

Oct. 2 Tue. – Nov. 25 Sun.



キム・インスク《息子と私》シリーズ(サイエソ:はざまから)より
2008年 ©金仁淑
Kim Insook, "Son and I" from the series SAIESEO: between two Koreas and Japan, 2008

現代写真・美術の世界でも注目の高まるアジアの女性作家6名の作品をご紹介します。

Showcasing the work of female artists from Asia who have garnered international attention in the world of modern photography.

料金: 一般800円ほか。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。

Admission: Adults: ¥800, and more.



インスティテュート・オブ・アジア・パフォーマンス・アート(IAPA)

10月13日(土)～11月11日(日)

Institute of Asian Performance Art (IAPA)

Oct. 13 Sat. – Nov. 11 Sun.



張培力《30 × 30》1988

上海、ロンドンを拠点に活動するキュレーター、ヴィクター・ワンによる展覧会。東アジアのパフォーマンス・アートや映像、ドキュメンテーションといったメディア作品の初期の歴史を紐解き、現代への変遷を辿ります。中国現代美術家の張培力や、日本、韓国の作家による作品を紹介します。会期中には外部機関と連携したトーク・イベントも予定しています。

An exhibition by Shanghai, London based curator Victor Wang. Trace the history of East Asian performance art and its evolution to the present day through various media including video and documentation. Works by a contemporary Chinese artist Zhang Peili, as well as those by Japanese and Korean artists, will be shown. Related talk events at other institutions are also planned.

観覧料: 無料

会場: トーキョーアーツアンドスペース本郷

休館日: 10月15日(月)・22日(月)・29日(月)、11月5日(月)

Admission: Free

Venue: Tokyo Arts and Space Hongo

Closed: Oct. 15 Mon., 22 Mon., 29 Mon., Nov. 5 Mon.

Emerging 2018【第2期】

8月25日(土)～9月24日(月・振休)

Emerging 2018 Part 2

Aug. 25 Sat. – Sep. 24 Mon.



平田尚也《Repetition game》2017

2001年の開館から開催されている、若手アーティストを対象とした育成支援プログラム。2016年まで行われた「トーキョーワンダーウォール」の2013年～2016年の入選者の中から希望者を募り、審査によって選出されたアーティスト、堀園実、福田絵理、平田尚也による展覧会を開催します。

A program to support the growth of young artists, held since TOKAS' opening in 2001. Applicants were sought from artists who participated in TOKAS' former Tokyo Wonder Wall project between 2013 and 2016, and three artists selected by a panel of judges, Sonomi Hori, Eri Fukuda and Naoya Hirata, will exhibit their works.

観覧料: 無料

会場: トーキョーアーツアンドスペース本郷

休館日: 8月27日(月)、9月3日(月)・10日(月)・18日(火)

Admission: Free

Venue: Tokyo Arts and Space Hongo

Closed: Aug. 27 Mon., Sep. 3 Mon., 10 Mon., and 18 Tue.

オープン・スタジオ 2018-2019

11月9日(金)～11日(日)11:00～17:00

OPEN STUDIO 2018-2019

Nov. 9 Fri. – 11 Sun. 11:00 – 17:00

会場: トーキョーアーツアンドスペースレジデンス

Venue: Tokyo Arts and Space Residency

OPEN SITE 2018-2019 Part 1

11月24日(土)～12月24日(月・振休)

OPEN SITE 2018-2019 Part 1

Nov. 24 Sat. – Dec. 24 Mon.

会場: トーキョーアーツアンドスペース本郷

Venue: Tokyo Arts and Space Hongo



トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)は、2017年10月1日よりトーキョーワンダーサイトから名称を変更しています。

"Tokyo Arts and Space" (TOKAS) is the new name of former Tokyo Wonder Site as of October 1, 2017.



アーツカウンシル東京は、世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

Arts Council Tokyo implements a variety of programs to promote the creation and dissemination of arts and culture and increase Tokyo's appeal as a global city of arts and culture.

TURN フェス4

8月17日(金)～19日(日)

TURN FES4

Aug. 17 Fri. – 19 Sun.



TURN FES3
撮影:伊藤友二

「TURN」は、「人と違う」ことに価値を見出すアートの特徴を活かし、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの属性や背景の違いを超えた多様な人々の出会いと表現を生み出すアートプロジェクトです。TURN フェス4では、上野の東京都美術館を会場に、各地で開催している「TURN 交流プログラム」や「TURN LAND」等が一堂に会します。作品展示やワークショップ、トークイベントやオリジナルプログラム等の実施を通して、TURNの理念を体感する空間、アクセシビリティやダイバーシティに関する理解を深める機会をつくれます。



TURN FES3
撮影:伊藤友二

TURN is an art project that highlights the unique power of art to see the value in the differences that make us individuals, creating a space for people to meet and express themselves that transcends ability and disability, generation, gender, nationality and background. TURN FES4, based at Tokyo Metropolitan Art Museum in Ueno, brings together the "TURN Interactive Program" from different regions and "TURN LAND" under one roof. The event will feature exhibits, workshops, talks and original programs, creating a space where visitors can experience TURN's guiding principles, and deepen their understanding of the concepts of accessibility and diversity.

会場:東京都美術館 ロビー階 第1・第2公募展示室

主催:東京都、アーツカウンシル東京・東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学

料金:無料

Venue: Tokyo Metropolitan Art Museum LBF Citizen's Gallery 1 & 2

Admission: Free

東京キャラバン in 高知

9月16日(日) / 高知県立美術館・中庭

Tokyo Caravan in Kochi

Sep. 16 Sun. / Courtyard of The Museum of Art, Kochi

大江戸寄席と花街のおどり その八

9月17日(月・祝) / 国立劇場

Oedo Vaudeville Show and Traditional Geisha Dances VIII

Sep. 17 Mon. / National Theatre

伝承のたまてばこ〜多摩伝統文化フェスティバル2018〜

9月22日(土)・23日(日・祝) / 八王子エリア

Legendary Tamatebako (Treasure Box)

—Tama Traditional Culture Festival 2018—

Sep. 22 Sat., 23 Sun. / Hachioji area

東京大茶会2018

10月13日(土)・14日(日) / 江戸東京たてもの園

10月20日(土)・21日(日) / 浜離宮恩賜庭園

Tokyo Grand Tea Ceremony 2018

Oct. 13 Sat., 14 Sun. / Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

Oct. 20 Sat., 21 Sun. / Hama-rikyu Gardens

アンサンブルズ東京

8月26日(日)

Ensembles Tokyo

Aug. 26 Sun.



平成29年度アンサンブルズ東京
撮影:奥石有佑



平成29年度アンサンブルズ東京ワークショップの様子
撮影:新井潔

音楽家・大友良英氏のディレクションの下、参加したすべての人たちがそれぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手で音楽の場を作り上げることを目指した参加型の音楽フェスティバルを、東京を象徴する場の一つである東京タワーで開催します。美術・装飾は「プロジェクトFUKUSHIMA!」が担当。

A music festival held at one of the symbols of Tokyo – Tokyo Tower – under the direction of musician Otomo Yoshihide. Anyone can take part, and the festival aims to unite people of different backgrounds through the creation of a musical space. "Project FUKUSHIMA!" will be in charge of art and decorations.

会場:東京タワー

主催:アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、アンサンブルズ東京実行委員会【ピースリーマネジメント有限公司、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、株式会社文化放送】

料金:無料

Venue: Tokyo Tower

Admission: Free

東京芸術祭2018 9月1日(土)～12月9日(日)

Tokyo Festival 2018 Sep. 1 Sat. – Dec. 9 Sun.



東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指した都市型総合芸術祭を実施します。今年度から総合ディレクターに宮城聡氏(演出家/SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督)が就任し、より充実したプログラムで舞台芸術の魅力を広く発信します。

A multidisciplinary city-wide arts festival aiming to connect Tokyo's profound and multifarious arts and culture with the wider world. This year's director, theatre director and general director of Shizuoka Performing Arts Center, Satoshi Miyagi, will deliver programs that highlight the charm of the performing arts more than ever.

会場:池袋エリア(東京芸術劇場、池袋西口公園など)

主催:東京芸術祭組織委員会【アーツカウンシル東京・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会】

参加事業:東京芸術祭 直轄事業、フェスティバル/トーキョー18、芸劇オータムセレクション、としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム、APAF-アジア舞台芸術人材育成部門

Venue: Ikebukuro area (Tokyo Metropolitan Theatre, Ikebukuro West Gate Park and more)

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2018

11月10日(土)・11日(日) / 神楽坂エリア

Kagurazaka Street Stage O-edo Tour 2018

(Japanese Traditional Culture Festival)

Nov. 10 Sat., 11 Sun. / Kagurazaka area

TERATOTERA「TERATOTERA祭り2018」

11月16日(金)～18日(日) / JR三鷹駅周辺施設、空き店舗など

TERATOTERA "TERATOTERA Festival 2018"

Nov. 16 Fri. – 18 Sun. / Vacant stores around Mitaka station

Shibuya StreetDance Week 2018

11月24日(土)・25日(日) / 代々木公園、渋谷エリア

Shibuya StreetDance Week 2018

Nov. 24 Sat., 25 Sun. / Yoyogi Park, Shibuya area



大規模改修工事に伴い休館中

Temporarily closed for renovations.

リニューアル・オープンは2019年3月下旬を予定しております。

Currently closed until late March 2019 (tentative) for renovations.

MOTサテライト 2018 秋 うごきだす物語

10月20日(土)～11月18日(日)会期中の金、土、日曜日及び祝日開催

MOT Satellite 2018 FALL

Every Fri., Sat., Sun., and a holiday between Oct. 20 Sat – Nov. 18 Sun.



昨年度の「MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景」展示風景
Atsuko Nakamura《内在する速度》2017年
撮影：白井晴幸
Atsuko Nakamura, "Inner Speed" 2017
Installation view of "MOT Satellite 2017 FALL-Connecting Scapes"
Photo: Haruyuki Shirai

美術館の改修工事期間中に、活動を館外に拡張し、アーティストの作品等を清澄白河エリアで紹介するアートプロジェクト。美術館周辺地域の文化拠点、商店街などと協力し、アート作品の展示のみならず、トークイベントなどの多彩な関連プログラムを展開し、地域の魅力を再発見するプロジェクトです。第3回目となる今回は、間近に迫った美術館のリニューアル・オープンへの気運を高めていきます。

This art project takes artistic activities out into the community with displays of artists' works and projects in the Kiyosumi-shirakawa area while Museum of Contemporary Art Tokyo(MOT) is closed for renovations. Through a program featuring not only exhibitions of art works, but also talk sessions and a diverse array of other events, held in collaboration with cultural spots and shopping arcades around the museum, this project aims to help people to rediscover the attractive features their community. In the third edition of the program, we will seek to build excitement ahead of the imminent reopening of the refurbished museum.

会場：清澄白河エリア
Venue: Various locations in Kiyosumi-shirakawa

03-5777-8600(ハローダイヤル)

URL ▶ <http://www.mot-art-museum.jp>

P.30 → Map 05

東京都渋谷公園通りギャラリー

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery



東京都渋谷公園通りギャラリーは施設改修工事に伴い休館しております。リニューアルオープンは2019年度中を予定しております。

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery has been temporarily closed for renovations and will reopen in 2019.

渋谷拠点開設に向けたプレ事業 移動する港！「豊かな不都合」

8月14日(火)～28日(火)

Trans-Port I : Fertile Difference

Aug. 14 Tue. – 28 Tue.

会場：四谷三丁目ランプ坂ギャラリー(東京都新宿区四谷4-20 四谷ひろば内)

入場：無料

休場：毎週木曜日

詳細はHPにてお知らせします。

Venue: Gallery Lamp (4Chome-20, Yotsuya, Shinjuku, Tokyo)

Admission: Free

Closed: every Thursday

Details will be updated on our official website.

URL ▶ <http://www.inclusion-art.jp>

P.30 → Map 06

03-5633-5860
東京都現代美術館リニューアル準備室内(代表)



東京のアートイベントや展覧会・公演情報などをリアルタイムでご紹介するウェブサイト「Tokyo Art Navigation」。アートをもっと楽しみたい人必見の「コラム」を毎月更新しているほか、不定期でスペシャルコンテンツも掲載しています。アーティストやサポーターが自らの活動を情報発信できる場としてもご利用いただけます。

"Tokyo Art Navigation" is a website devoted to providing real-time information on Tokyo's art events, exhibitions and performances. The page is updated every month with columns that art fans will love, in addition to non-regular special features. Artists and supporters can also use the page as a space to post information about their own activities.

アートをもっと楽しむ「連載コラム」

●アーティスト・サバイバル・メソッド

アーティストを目指す人のための、先輩クリエイターやサポーターによる、アートの制作現場で役立つ情報を紹介。

●アーティスト解体新書

注目の展覧会や公演にちなんだアーティストたちの興味深いエピソードをイラストを交えて紹介。

●西堂行人のトーキョー・シアター・ナビ

演劇評論家・西堂行人さんが、東京の演劇シーンについて、縦横無尽に語ります。

●イベントレポート

都内で開催される注目のアートイベントの模様を取材レポート。

●異分野×アーティスト～対話から生まれる化学反応～

異なるフィールドで活躍するアーティスト2人が互いの作品を通してアート談義を繰り広げます。



ミュージアム&シアターガイド

「TOKYO TO GO」

URL ▶ https://www.rekibun.or.jp/en/about/multilingual_efforts/



Museum & Theater Guide
"TOKYO TO GO"



財団ウェブサイトからダウンロードもできます。

国内外から東京を訪れる観光客向けに、多言語で都立文化施設を紹介するガイドブック「TOKYO TO GO」を全面リニューアルしました！英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、日本語の5言語に対応しており、財団各施設のほか、東京都庁「東京観光情報センター」などで無料配布しています。各施設の見どころはもちろん、周辺スポットや江戸文化に関するコラムなども掲載しています。ぜひ東京観光にご活用ください。

"TOKYO TO GO", the guidebook aimed at both foreign and domestic tourists, offering information on Tokyo's municipal cultural facilities in multiple languages, has undergone a complete renewal! Available in English, traditional and simplified Chinese, Korean, and Japanese, the guide is distributed free of charge at all the foundation's facilities, as well as the Tokyo Tourist Information Center at the Tokyo Metropolitan Government Building. The guide includes not just the highlights of each facility, but information on popular nearby spots as well as columns about the city's culture. Grab a copy to make the most of your Tokyo sightseeing experience. "TOKYO TO GO" is also available on the website of the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture.

アボット奥谷の TOKYO ART 探訪

ストーリー／文・アボット奥谷

東京のアートにまつわるあれこれをマンガでレポート。

今回は、さまざまな歴史的建造物が建ち並ぶ野外博物館・江戸東京たてもの園の「看板建築」にスポットを当てます。



江戸東京たてもの園

江戸時代から昭和中期までの歴史的建造物を移築・復元した野外博物館。約7ヘクタールの広大な敷地のなかに、茅葺き屋根の農家やレポートで紹介した看板建築など、文化的価値の高い30棟の建造物が並ぶ。建物のなかには暮らしの様子が伺える生活道具なども展示されており、当時の雰囲気味わうことができる。



江戸東京たてもの園に移築された看板建築の一部

アボット奥谷(アボット おくたに)

イラストレーター。ゆるくてかわいいキャラクターを得意とし、さまざまな媒体で幅広く活躍中。

東京都江戸東京博物館

夜間特別開館 7.20(金)ー8.31(金)の金曜日 17:00ー21:00 ★



ミュージアムショップ (21:00まで営業)
17:00以降来店、観覧券提示で会計5%OFF

企画展「BENTO おべんとう展
ー食べる・集う・つながるデザイン」

7.27(金)ー8.31(金)の金曜日

学生無料、一般は団体料金 ★

特別展「没後50年 藤田嗣治展」

8.3(金)ー8.31(金)の金曜日

イブニング・レクチャー 8.10(金)、8.31(金) 各日18:30ー
会場：講堂(定員225名)

※聴講無料。ただし本展の
観覧券(半券可)が必要です。
※18:10に開場し、定員になり次第、受付終了。

「藤田嗣治展」関連ミニコンサート
(企画制作：東京文化会館)

8.17(金) 18:00ー / 19:00ー

会場：企画棟ホワイエ ※入場無料



東京都美術館

夜間特別開館 7.27(金)ー8.31(金)の金曜日 17:00ー21:00 ★

「7つの謎解きミステリーラリー」 7.20(金)ー9.17(月・祝)

サマーナイトミュージアム2018に関連し、国立・都立の
7つのミュージアムと駅をめぐる、謎を解きながらゴールを目指す
体験型ラリーを東京メトロ、国立美術館と合同で実施します。
詳細は <https://mysteryrally.com/>

Pick Up! ひまわり寄席

7.20(金)ー8.24(金)の
金曜日 18:30ー19:15

毎年恒例、夏の夜にぴったりの
講談師による怪談をお楽しみください。
常設展の観覧料でご覧いただけます。



学生無料
など
夜だけの特典あり

都立の美術館・博物館が、この夏21時までオープン

サマーナイト SUMMER NIGHT MUSEUM

ミュージアム

2018. 7.19 Thu. — 8.31 Fri.

◎夜間特別開館を実施する日時は各館によって異なります。

都立の美術館・博物館は夏休み期 間、開館時間を21時まで延長します！
さまざまな関連イベントが行われるほ か、学生無料などの特典もご用意。
真夏の夜だけのおトクで楽しいミュージアムにぜひお越しください。

★は夜間特別開館 時だけの割引です。

※学生・65歳以上の方は、学生証・ 年齢の確認できるものが必要です。

URL ▶ <http://www.rekibun.or.jp/nightmuseum2018/>

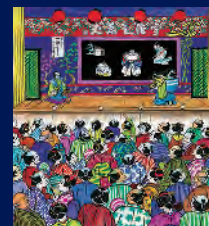
◎入館は閉館の30分前まで。 ◎イベントや特典の内容は変更
する場合がございます。詳細は ウェブサイトでご確認ください。

Pick Up!

「江戸写し絵」社中旗揚げ公演
「納涼江戸写し絵の夕べ」

8.24(金) 19:00ー20:00

入場無料(先着50名)



「マジック・ランタン 光と影の映
像史」の関連企画。日本のアニ
メの原型と言われる、江戸時代
の写し絵を現代に再現します。

夜間特別開館 7.19(木)ー8.31(金)の木・金曜日 18:00ー21:00 ★

東京都庭園美術館

夜間特別開館 7.20(金)ー8.31(金)の金曜日 17:00ー21:00 ★



企画展「ブラジル先住民の椅子
野生動物と想像力」

学生無料、一般・65歳以上は
団体料金 ★

ギャラリートーク 7.27(金)、8.24(金) 各日18:30ー

庭園公開

学生無料、一般・65歳以上は団体料金 ★

café TEIEN (カフェ 庭園)

17:00以降、ドリンクセット100円引き

ミュージアムショップ「BLANC」「NOIR」

17:00以降、商品購入のお客様に
オリジナルポストカードプレゼント
(1店舗につき1日1回のみ、各店舗1日50名まで)



Pick Up!
Du Parc TEIEN Restaurant
(レストラン デュ パルク)

レストランデュパルクでは期間中、17:00以
降来店、観覧券提示でディナーの料金が
5%割引になります(1グループ最大6名まで)。

「世界報道写真展2018」

7.19(木)ー8.3(金)の木・金曜夜

「杉浦邦恵 うつくしい実験
ニューヨークとの50年」

7.26(木)ー8.31(金)の木・金曜夜

学生無料、一般・65歳以上は
団体料金 ★

芸劇ウインド・オーケストラ・
アカデミー ミニコンサート

(企画制作：東京芸術劇場)

木管三重奏 8.3(金) 18:15ー
フルート二重奏 8.16(木) 18:15ー

ミュージアム・ショップ

「NADiff BAITEN (ナディッフ・バイテン)」

18:00以降、商品購入のお客様に
ミニプレゼント(なくなり次第終了)

カフェ「MAISON ICHI (メゾン・イチ)」

18:00以降来店、観覧券1枚提示でお1人様ドリンク1杯半額

東京都写真美術館



公益財団法人 東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture



パートナーシップのご案内

学生の皆様に都立文化施設をご活用いただき、文化に親しむ機会を提供することを目的とした、大学や専門学校を対象とする会員制度です。

【会員校の学生への主な特典】

- ① 常設展等への無料入場
 - ・常設展(江戸東京博物館、江戸東京たてもの園)
 - ・収蔵展(東京都写真美術館)
 - ・庭園(東京都庭園美術館)
- ② 特別展・企画展の特別割引(期間限定)
- ③ コンサートや演劇等、対象公演へのご招待や特別割引
- ④ 会員校限定のコンサート等の公開リハーサル、解説付きのバックステージツアー等へのご招待

ほか

詳細は ▶ <https://www.rekibun.or.jp/about/project/partnership/>

ご支援等のお願い —東京の文化の継承と発展、創造のために—

首都東京の芸術文化の振興と江戸東京の歴史的文化遗产の継承、発展に努めている当財団では、事業趣旨にご賛同いただける皆様や法人からのご支援を広くお願いしております。より魅力的な事業を継続的に展開していくためには、皆様からのご支援を欠くことが出来ません。ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

詳細は ▶ <https://www.rekibun.or.jp/about/support/>

チケットプレゼント

「ART NEWS TOKYO」読者限定で、公演・展覧会の招待券を抽選でそれぞれ、5組10名様にプレゼントします！
はがきに【必要事項】をご記載の上、8月20日(月)までに(必着)ご応募ください。

【必要事項】

- ①お名前
- ②ご住所
- ③ご希望の公演・展覧会
 - A 東京文化会館「第16回東京音楽コンクール 本選 弦楽部門」(8/29 18:00開演)
 - B 東京都美術館「没後50年 藤田嗣治展」
- ④本誌を読んでいただいたご感想

【応募先】〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1
東京都歴史文化財団「ART NEWS TOKYO」担当 宛て

A 東京文化会館「第16回東京音楽コンクール 本選 弦楽部門」(8/29 18:00開演)



荒井里桜(第15回弦楽部門第1位) ©堀田力丸

B 東京都美術館「没後50年 藤田嗣治展」



※記載された個人情報は本企画(チケットプレゼント)以外では使用しません。
抽選結果はチケット等の発送をもってかえさせていただきます。



江戸東京博物館 常設展示室



東京芸術劇場ナイトタイム・バイパオルガンコンサート ©Hikaru ☆

支援制度には以下の2種類がございます。

- 【ご支援】一口50,000円～(個人・法人を問いません。)
〈特典〉当財団が主催する展覧会などへご招待します。二口以上ご支援いただいた方には「内覧会」へもご招待します。
(共催展等、一部対象外の事業あり)
- 【ご寄附】一口2,000円～(個人)、一口10,000円～(法人)
〈特典〉金額により、税制上の優遇措置が受けられます。

BIWAKO BIENNALE 2018

International Art Festival
Omihachiman Shiga Japan

2018.9.15.sat → 11.11.sun

滋賀県近江八幡旧市街

10:00-17:00 [火曜日休場 Closed on Tuesdays]

ガラス作品「淡い陽」小曾川瑞那 Glass Work "Subtle Scenery" Runa Kosogawa

明るい未来へとその“きざし”が紡がれていくように…



井上剛 Tsuyoshi Inoue



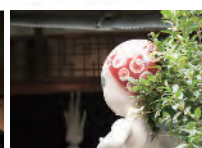
野田拓真 Takuma Noda



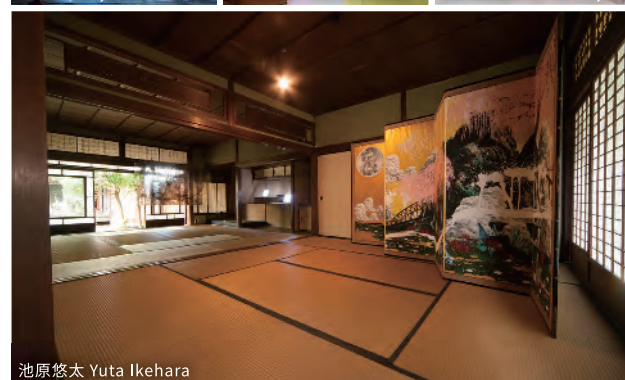
給田麻那美 Manami Kyuta



榎忠 Chu Enoki



三木サチ Sachiko Miki



池原悠太 Yuta Ikehara



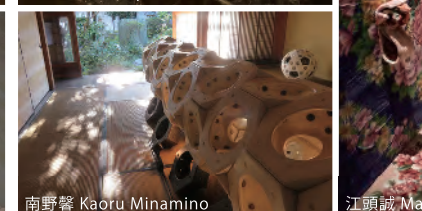
河合晋平 Shimpei Kawai



長谷川早由 Sayu Hasegawa



伊藤幸久 Yukihisa Ito



南野馨 Kaoru Minamino



江頭誠 Makoto Egashira

※画像は過去作品のため、今回の展覧作品およびインスタレーションではございません。



舞台となるのは、豊臣秀次が築き、後に近江商人発祥の地として名を馳せた近江八幡旧市街。町に点在する12の会場は、往時の繁栄を偲ばせる趣ある建物たち。長い歴史を刻んできた建物と75組を超すアーティスト達との共演は、どんな“きざし”を運んでくれるでしょう？
それは、未来からの贈りもの…。あなたの胸にもきっとステキな“きざし”が届くことでしょう。

<https://energyfield.org/biwakobiennale/>



TICKET

会場バスポート料金
*【 】は前売り券
[pre-sale]

一般 / Regular

¥2200【¥2000】

学生(大学・専門学生・高校生) / Students ¥1500【¥1300】

15歳未満 / Under 15

無料 / Free

CONTACT

BIWAKO ビエンナーレ事務局 (NPO 法人エナジーフィールド内)

〒523-0862 滋賀県近江八幡市仲屋町中12 スワイビル 2F

Tel&fax: 0748-36-3766 Mail: info@energyfield.org

BB2018 チケットクーポン
大人100円/学生50円
※有効期限はお問い合わせください

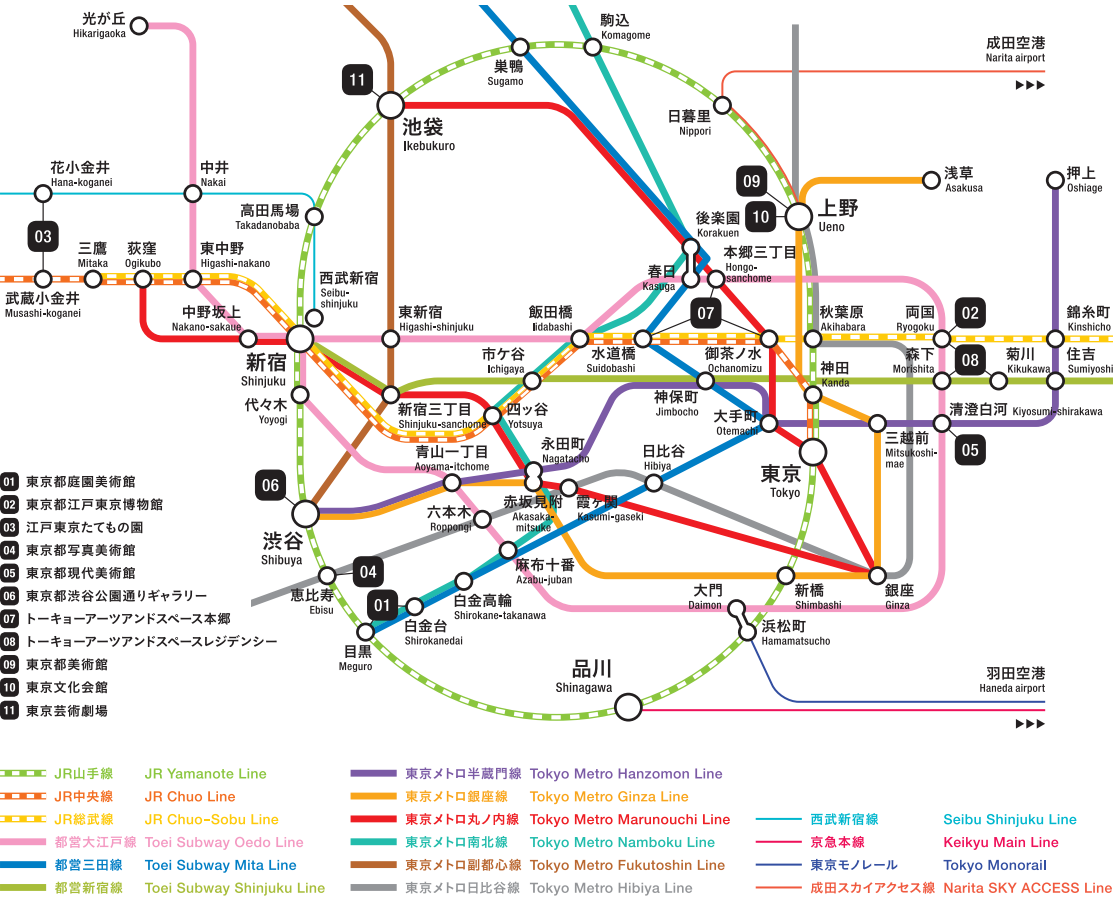
Maps & Information

各種優待のご案内

	身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方	65歳以上の方(要証明)	小学生以下、都内在住・在学の中中学生の方	「家族ふれあいの日」(毎月第3土曜日と翌日曜日)※都民で、18歳未満のお子さまをお連れの方(要証明)
東京都庭園美術館	手帳所持者及びその付添の方1名無料	庭園 半額 第3水曜日は無料	庭園 無料	庭園 半額
東京都江戸東京博物館	手帳所持者及びその付添の方2名無料	常設展 半額 第3水曜日は無料	常設展 無料	常設展 半額(2名まで)
江戸東京たてもの園	手帳所持者及びその付添の方2名無料	入園料 半額 第3水曜日は無料	入園料 無料	入園料 半額
東京都写真美術館(展覧会のみ)	手帳所持者及びその付添の方2名無料	第3水曜日は無料	観覧料 無料	観覧料 半額

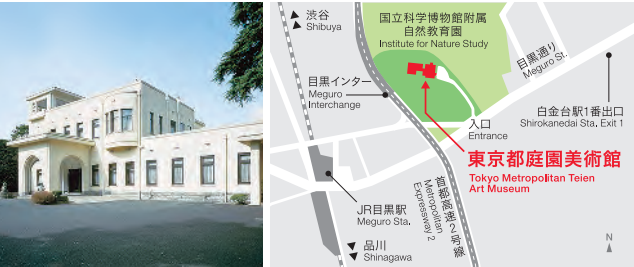
- 10月1日(月)は「都民の日」により、入場料・観覧料が無料となる施設があります。詳細は各施設のウェブサイトでご確認下さい。
- 東京都美術館の各種優待については、展覧会により異なりますので、詳細はウェブサイトにてご確認ください。
- 東京都現代美術館は改修工事のため全面休館中です。●展覧会等によっては、割引にならない場合がございます。Admission fee may be subject to discount. Please check the website of each facility.

主な路線図 Route map



01 東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum



所在地: 〒108-0071 港区白金台5-21-9 **交通:** JR 目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分、都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分 **開館時間:** 10:00-18:00 **休館日:** 第2・第4水曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始 **Address:** 5-21-9 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-0071 **Opening hours:** 10:00-18:00 **Closed:** 2nd and 4th Wednesday (or the following weekday when Wednesday falls on a national holiday) and New Year holidays **Tel:** 03-5777-8600(ハローダイヤル) **URL:** <http://www.teien-art-museum.ne.jp>

02 東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



所在地: 〒130-0015 墨田区横綱1-4-1 **交通:** JR 両国駅西口より徒歩3分、都営大江戸線両国駅A3・A4 出口より徒歩1分 **開館時間:** 9:30-17:30(土曜日-19:30) **休館日:** 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始 **観覧料:** 常設展は一般600円、大学生・専門学校生480円、65歳以上・都外中学生・高校生300円、小学生以下・都内在住・在学中中学生は無料 **Address:** 1-4-1 Yokami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015 **Opening hours:** 9:30-17:30 (-19:30 Saturday) **Closed:** Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) **Admission Fee:** Adults ¥600/Students (College/University) ¥480/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥300 **Tel:** 03-3626-9974 **URL:** <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp> **特別展示室等の一部施設は改修工事のため2019年3月末(予定)まで休室しております。Special Exhibition Gallery are closed until the end of Mar. 2019 (tentative).**

03 江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



所在地: 〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 **交通:** JR 武蔵小金井駅北口バス2番3番乗り場より「小金井公園西口」下車徒歩5分、西武新宿線花小金井駅南口よりバス「南花小金井」(小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分 **開館時間:** 4-9月 9:30-17:30、10-3月 9:30-16:30 **休園日:** 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始 **入園料:** 一般400円、大学生320円、65歳以上・都外中学生・高校生200円、小学生以下・都内在住・在学中中学生は無料 **Address:** 3-7-1 Sakura-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0005 **Opening hours:** Apr.-Sep. 9:30-17:30, Oct.-Mar. 9:30-16:30 **Closed:** Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays **Admission Fee:** Adults ¥400/Students (College/University) ¥320/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥200 **Tel:** 042-388-3300 **URL:** <http://www.tatemonoen.jp>

04 東京都写真美術館

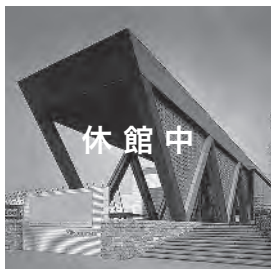
Tokyo Photographic Art Museum



所在地: 〒153-0062 目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) **交通:** JR 恵比寿駅東口より徒歩7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分 **開館時間:** 10:00-18:00(木・金曜日-20:00) **休館日:** 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始および臨時休館日 **Address:** Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062 **Opening hours:** 10:00-18:00 (-20:00 Thursdays and Fridays) **Closed:** Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday), New Year holidays and other temporary closures due to special circumstances. **Tel:** 03-3280-0099 **URL:** <http://topmuseum.jp>

05 東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo



所在地: 〒135-0022 江東区三好4-1-1 **交通:** 東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分、都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分
Address: 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022
Tel: 03-5633-5860 (Temporary Office)
URL: <http://www.mot-art-museum.jp>

改修工事のため全面休館中
Temporarily closed for renovations.

06 東京都渋谷公園通りギャラリー

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery



所在地: 〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 渋谷区立労働福祉会館1F
交通: JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分
Address: Shibuya Workers' Welfare Hall 1F, 1-19-8 Jinnan, Shibuya-ku, Tokyo 150-0041
Tel: 03-5633-5860 (Temporary Office)
URL: <http://www.inclusion-art.jp/>

改修工事のため休館中
Temporarily closed for renovations.

07 トーキョーアーツアンドスペース本郷

Tokyo Arts and Space Hongo



所在地: 〒113-0033 文京区本郷2-4-16 **交通:** JR 御茶ノ水駅御茶ノ水橋口・水道橋駅東口、都営三田線水道橋駅A1出口、東京メトロ丸ノ内線本郷三丁目駅1番出口、御茶ノ水駅1番出口、都営大江戸線本郷三丁目駅3番出口より各徒歩7分 **開館時間:** 11:00-19:00 **休館日:** 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始
Address: 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033
Opening hours: 11:00-19:00 **Closed:** Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays
Tel: 03-5689-5331 **URL:** <http://www.tokyoartsandspace.jp>

2017年10月1日より、トーキョーワンダーサイト本郷から名称を変更しています。

08 トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー

Tokyo Arts and Space Residency



所在地: 〒130-0023 墨田区立川2-14-7-1F **交通:** 都営新宿線菊川駅A1出口より徒歩9分、都営新宿線・大江戸線森下駅A5出口より徒歩11分、JR・都営大江戸線両国駅より徒歩15分
Address: 1F, 2-14-7 Tatekawa, Sumida-ku, Tokyo 130-0023
Tel: 03-5625-4433 **URL:** <http://www.tokyoartsandspace.jp>

2017年10月1日より、トーキョーワンダーサイトレジデンスから名称を変更しています。

オープン・スタジオ等開催時のみ一般公開
Open to the public only when events are held.

09 東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



所在地: 〒110-0007 台東区上野公園8-36 **交通:** JR上野駅公園口より徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分、京成電鉄京成上野駅より徒歩10分 **開館時間:** 9:30-17:30(特別展開催中の金曜日は20:00まで) **休館日:** 第1・第3月曜日、特別展・企画展は月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始
Address: 8-36 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007
Opening hours: 9:30-17:30 (Special Exhibition:-20:00 Friday)
Closed: Rental Gallery: 1st and 3rd Monday and New Year holidays / Special Exhibition Gallery: Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays
Tel: 03-3823-6921 **URL:** <http://www.tobikan.jp>

10 東京文化会館

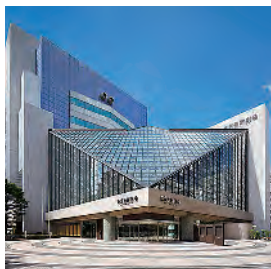
Tokyo Metropolitan Festival Hall, Tokyo Bunka Kaikan



所在地: 〒110-8716 台東区上野公園5-45 **交通:** JR上野駅公園口より徒歩1分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩5分、京成電鉄上野駅より徒歩7分 **開館時間:** 10:00-22:00(閉館時間は公演スケジュールによる) **休館日:** 年末年始・保守点検日(不定期)ほか
Address: 5-45 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-8716
Opening hours: 10:00-22:00 (excluding closed days)
Closed: New Year holidays, maintenance days (irregular), etc.
Tel: 03-3828-2111 **URL:** <http://www.t-bunka.jp>

11 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



所在地: 〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 **交通:** JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、地下通路2b出口直結 **開館時間:** 9:00-22:00 **休館日:** 年末年始ほか
Address: 1-8-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0021 **Opening hours:** 9:00-22:00 (excluding closed days)
Closed: New Year holidays, maintenance days, etc.
Tel: 03-5391-2111 **URL:** <http://www.geigeki.jp>

※各施設では、保守点検、工事休館などにより、開館日時が変更になることがあります。詳細はウェブサイトをご参照ください。
*Opening hours may be subject to change at short notice due to facility maintenance or other unexpected circumstances. Please refer to the website of each facility for details.
※美術館・博物館の入館は閉館の30分前までです。
*Last admission to the museum is 30 minutes before closing.

ART NEWS TOKYO

2018.08 - 11

©Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture. All rights reserved.
本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。
※掲載した情報は2018年7月現在の情報です。
やむを得ない事情などで開催内容が変更になることがあります。

発行日: 2018年8月1日(4、8、12月発行)
発行: 公益財団法人東京都歴史文化財団
〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1
Tel. 03-5610-3503
企画: 公益財団法人東京都歴史文化財団
事務局 総務課 企画広報係
編集: 株式会社スプー
アートディレクション・デザイン: 株式会社ルームコンボジット
翻訳: 株式会社マイス
印刷・製本: 佐川印刷株式会社

ミュージアム & シアターの最新情報 [アート・ニュース・トーキョー]

ART NEWS TOKYO

2018
08-11

Museum and Theatre Information



東京文化会館 地下楽屋エリア

アートとカルチャーがある都市、東京。

Tokyo, the City of Arts and Culture.

TokyoTokyo
FESTIVAL

東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

東京都渋谷公園通りギャラリー

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

トーキョーアーツアンドスペース

Tokyo Arts and Space

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum

東京文化会館

Tokyo Metropolitan Festival Hall,
Tokyo Bunka Kaikan

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

アーツカウンシル東京

Arts Council Tokyo

東京都歴史文化財団へのご支援のお願い

公益財団法人東京都歴史文化財団では、当財団の芸術文化活動展開の趣旨にご賛同いただける皆様や、日頃から社会貢献にご理解のある企業の皆様に対して、当財団が主催する事業や展覧会に対するご支援を広くお願いしております。詳細は26ページをご覧ください。

公益財団
法人

東京都歴史文化財団